

樹上に造られた小屋、ツリーハウス。森にある隠れ家や秘密基地といったイメージだが、最近では街中でも見かけるようになった。ブランドショップや賃貸住宅に併設するユニークなツリーハウスを訪ね、都会の中で自然を感じてみた。

(発知恵理子)

高級マンションや、おしゃれな飲食店が並ぶ東京・白金台。一角にあるファッションブランド「アダムエロペ」本店には、中庭のクスノキの上に、星形のツリーハウ

ツリーハウス

都会に自然の風を

スがある。二年前の改装の際、シンボルとして建てられた。来店客のほか誰でも気軽に入れ、近所の小学生が連れ立って遊びに来ることもあるという。

▲▲ 建物の非常階段を上り、ツリーハウスにつながる小さな階段を伝って中に入った。地上から八段、三階建ての店舗と同じ高さで、内装はアンテ

ィークの建具やステンドグラスを使い、細部にもこだわっている。大人が四、五人で満員の広さだ。

▲▲ 風が吹くと、カサカサと葉の音がそばで聞こえ、ギシギシと全体が揺れる。「木に抱かれて、ワクワクドキドキするような、日常では味わえない感覚ですよ」と話すのは、このツリーハウスを手掛けた小林崇さん(五〇)。

▲▲ 二十年前から、依頼を受けてツリーハウスを専門に造る、日本での第一人者だ。これまで全国で百棟以上を建てたが、「木に負担がかからず、長持ちするように心がけている」と言う。

木に抱かれワクワク ゆったり快適、憩いの場

▲▲ 珍しい物件とあって、昨年十二月の完成後、すぐに満室になった。現在は二十七歳から三十六歳の男女八人が住む。入居者でもある同社の立花佳奈子さん(三三)は「見晴らしも良くて、快適。ゆったりできるような気がします」と話す。

▲▲ ツリーハウスは五月の連休ごろに完成し、入居者の憩いの場となる。日時を限定して、カフェやイベントスペースとして一般にも開放したいという。

▲▲ 長と、大工の女性社員の二人で手作りしている。当初は、大関社長がこの土地に立つ大きなタブノキを気に入り、ツリーハウスを造ろうと計画。さらに「みんなで木を囲んで暮らしたら楽しいのでは」と、入居者が共同生活をする賃貸のシェアハウスを先に建てた。

▲▲ 個室棟と、キッチンやリビング、風呂の共有棟に、それを見下ろす遊び心のあるツリーハウス。

樹上の小屋



シェアハウス「パウハウス横浜」に建設中のツリーハウス＝横浜市神奈川区で



ファッションブランド店の中庭に建てられたツリーハウスと小林崇さん＝東京都港区白金台で